

令和2年度 中部地方ダム等管理フォローアップ委員会 議事要旨

1. 日 時:令和3年度1月26日(火)13:30~16:30
2. 場 所:AP 名古屋 会議室 B+C+D
3. 出席者:藤田委員長、奥野委員、中村委員、西條委員、駒田委員、粕谷委員、辻本委員、長谷川委員
4. 議 事:
 - (1)ダム等の定期報告
 - 1)長良川河口堰
 - 2)岩屋ダム
 - 3)丸山ダム
 - (2)令和元年度年次報告書(案)及び令和2年の出来事
 - (3)審議概要等の確認

(1) ダム等の定期報告について

1) 長良川河口堰 定期報告について

【総括】

これまでの調査結果の分析・評価をとりまとめた長良川河口堰の定期報告書（案）について、審議を行った。

その結果、平成 27 年以降のフォローアップ調査計画に基づく調査が的確に行われていること、治水・利水について適切な効果を発揮していること、環境への影響等についても、堰運用前後で環境に一定の変化はあったものの、近年、調査結果は概ね安定した推移を示していることから、長良川河口堰については適切に管理運用されていることを確認した。

なお、委員会の審議に際し、各委員より出された主な意見等は、下記のとおり。

i) 治水

- なし

ii) 利水

- なし

iii) 塩害防止・地下水位の変動

- なし

iv) 水質・底質

- なし

v) 生物

- サツキマスの市場入荷数が減少している要因については、市場調査のみではなく、漁業者・入漁者の漁獲実態等も踏まえた整理が必要である。
- 調査精度の向上に向け、A I ・ U A V 等の最新技術の活用を検討すること。

vi) 今後の調査計画

- なし

vii) その他

- 引き続き各種データを確実に蓄積し、一般の理解を深めていくことが重要である。
- 高潮時の操作実績は貴重かつ重要な経験であり、今後、評価対象に加えることについて検討すること。

- 定期報告書については、了承する。